



おおやまもりひさ
大山盛久議員



市長選再出馬について問う

質 令和6年4月の笠岡市長・市議会議員選挙について、小林市長の考えを尋ねる。

答 7年前（平成28年）に就任してから休むことなく職務にあたりてきた。一日たりとも市民の生活が頭から離れたことはない。本市初の民間出身の市長として、何事にも今までとは違う視点で取り組んできた。企業誘致を始め、県営笠岡港工業用地の完売、国道2号バイパスは令和7年度の完成が見込まれ、また、市民病院は黒字化を実現し、公立幼稚園・保育所の再編にも道筋をつけることができた。その一方で、水道料金の値下げや駅前再開発、教育改革等、やらなければならないことが残っている。市民の負託をいただけるなら、改めて市長選に出馬したい。

有害鳥獣の取組について問う

質 野生鳥獣による農作物被害は、全国でも155億円と高い水準にある。本市の被害の実態と、防止の取組等について、①笠岡市鳥獣被害防止計画を推進していく上で被害及び課題②報奨金及び協力金③ハンティングドローンを活用した取組④笠岡市鳥獣被害防止対策協議会の活動内容を尋ねる。

答 ①鳥しよ部における有害鳥獣対策の在り方、担い手不足等が課題。ICTを取り入れ、従事者の負担軽減を図りたい。②猟友会に奨励金、地域住民組織に協力を支給している。現状を維持したい。③真鍋島で巻き狩りを行う予定。④情報共有や効果的な鳥獣対策を推進している。困いわなを導入し、効率的な捕獲を行っている。今後とも被害の低減に努める。

地域課題を解決する「コミュニティづくり」について問う



やまもと さとし
山本聡議員



いる。⑥地域と行政の連絡調整役・地域とのパイプ役。

かさおかブランドの推進に向けて

質 かさおかブランドの仕組みや体系等について尋ねる。

質 現代社会が抱えている課題解決のポイントとしてコミュニティが注目を集めているが、①既存地域組織の体制の把握②自治会の主な活動内容③既存地域組織の再編廃止の可能性④地域、団体間の情報交換や親睦機会の提供⑤コミュニティ間のマッチング⑥行政職員、市職員の地域コーディネーターとしての役割について尋ねる。

答 ①地域ごとに課題は異なるが、自主性、自立性を発揮し成果を上げられている。②地域清掃や高齢者・子供の見守りなど。③一時は存続の危機を懸念していたが、多くの地域で活動が復活した。④毎年、活動報告会を開催し、情報を共有している。⑤活動報告会や情報交換会を通し、交流を深めることで、より活発な取組につなげて

答 本市の価値を高めることを目的としている。現在、31もの商品や技術等の地域資源が認定され、食品・産業・技術・観光の4つの部門を設け、新たな認定に向けて募集を行っている。ふるさと納税の返礼品や、大手百貨店での販売等では高い評価をいただいている。今後は情報発信だけでなく、商工会議所や観光協会と連携し、事業者支援・観光振興に努めたい。また、代々塾（ブランド構築セミナー）の開催などを通じて、ブランドの価値を高め、市全体のブランディングにつなげたい。